

科目区分	専門教育科目	科目名	子どもと保健		科目コード	19Y590	担当者	光武 きよみ			
対象学生	幼児教育学科 2年生		学期区分	後期	単位数	2	担当形態	単独			
科目			施行規則に定める科目区分又は事項等			卒業要件	選択				
						免許・資格要件	保育士必修				
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
子どもの心身の発育・発達、健康を増進させるための環境について理解するとともに、疾病と予防法および適切な対応、安全管理について学ぶ						1. 「尽心」 誠実な人柄と 人間力	2. 「創造」 高度な知性と 創造力	3. 「実践」 明確な意思と 実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・ 真摯性	② 多様性・ 協働性	③ 知識・ 技能	④ 表思考・ 創造力	⑤ 実主体性・ 自立性	⑥ 就業力・ 貢献力
1.	子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を説明できる										
2.	子どもの身体・生理・運動・精神機能の発達と保育について理解し、説明することができる										
3.	子どもの疾病とその予防法を理解して、適切な対応について説明できる										
4.	子どもの精神保健に関心を示し、心の問題とその課題について述べるができる					◎	◎	○	○	◎	
5.	保育における環境及び衛生管理並びに安全管理について、具体的に述べるができる					成績評価の方法と割合					
授業方法						受講態度（15%） 提出物（15%） 定期試験（70%）					
基本は、パワーポイントや資料を使用して講義形式で行う 場合によっては、グループワークや個人作業を行う事もある□											
課題等への対応						授業外学修時間					
提出物は、全て添削して追加修正を行い、個人に返却する						週30分程度の予習復習が必要					
回数	授業計画					学習課題（予習・復習）					
第1回	生命の保持と情緒の安定に係る保健活動に意義と目的、健康の概念と健康指標					健康の概念について振り返り、身体の発育について予習する					
第2回	子どもの発育・発達と保健 ①生物としてのヒトの成り立ち、身体の発育と保健					ヒトの成り立ちを振り返り、生理機能の発達についてまとめる					
第3回	子どもの発育・発達と保健 ②生理機能の発達と保健					生理機能の発達について振り返り、運動機能の発達についてまとめる					
第4回	子どもの発育・発達と保健 ③運動機能の発達と保健					運動機能の発達について振り返り、精神機能の発達についてまとめる					
第5回	子どもの発育・発達と保健 ④精神機能の発達と保健					精神機能の発達について振り返り、疾病の種類をまとめる					
第6回	子どもの疾患と保育 ①子どもの健康状態の把握と主な疾病の特徴					疾病の種類と特徴を振り返り、乳幼児に多い感染症を予習する					
第7回	子どもの疾患と保育 ②保育の現場でよくある疾患Ⅰ					保育現場で多い疾患の復習を行い、慢性疾患を予習する					
第8回	子どもの疾患と保育 ③保育の現場でよくある疾患Ⅱ					保育現場で多い慢性疾患の復習を行い、精神保健とは何かをまとめる					
第9回	子どもの精神保健 ①子どもの生活環境と精神保健					生活環境と精神保健の関係を振り返り、心の問題を予習する					
第10回	子どもの精神保健 ②子どもの心の健康とその課題					心の健康と課題の振り返りを行い、衛生管理についてまとめる					
第11回	環境および衛生管理ならびに安全管理 ①保育環境整備と保健、衛生管理					保健、衛生管理の復習を行い、安全対策についてまとめる					
第12回	環境および衛生管理ならびに安全管理 ②保育現場における事故防止および安全対策、危機管理					安全対策、危機管理等の復習を行い、母子保健対策のまとめを行う					
第13回	健康および安全の実施体制 ①職員間の連携と組織的取り組み、母子保健対策と保育					母子保健対策と保育の復習を行い、地域連携について予習する					
第14回	健康および安全の実施体制 ②家庭・専門機関・地域との連携、地域における保健活動と児童虐待防止					地域における保健活動と虐待防止について復習し、ノートの整理を行う					
第15回	(現在までの学習内容のポイント、試験対策) まとめ					現在までのポイントを振り返り、試験対策を行う					
試験	定期試験を実施する										
教科書	子どもの保健Ⅰ 佐藤益子 著 ななみ書房				受講生への メッセージ	子どもと関わる保育士にとって、小児の発育・発達、病気に関しての専門的知識が必要です また、保育の現状や課題を知り、衛生管理や安全管理がどのように実施されているのか学んでいきましょう					
参考書等	なし										